



講師プロフィール

和歌山県出身。外資系金融機関での10年間の役員秘書を経て東日本大震災後に退職。災害ボランティアとして石巻へ。ボランティア有志とRQ被災地女性支援センター（RQW）を設立。2013年NPO法人ウィメンズアイとして法人化、代表理事に就任。

**主催：大阪市立男女共同参画センター中央館、
国連ウィメン日本協会大阪**

日時：平成29年6月17日（土）14時～16時

場所：クレオ大阪中央 参加者：53名

講師：石本めぐみさん（NPO法人ウィメンズアイ代表理事）

参加者の声

- リーダーシップというと、強くグイグイひっぱっていくイメージですが、共感、特に弱さといった資質も必要というのは、目からウロコでした。自信になりました。
- 石本さんがアクティブに学び続けながら、現場への支援に心も力も尽くされていることに感動しました。

女性のリーダーシップ研修は自己決定力を育てる地域伴走型で

災害後の地域づくりには、女性たちが意思決定に関わることが不可欠であり、女性たちが意思決定の場で力を発揮するためには、①他地域の女性たちとつながる、②自分の意見を人前でみんなに伝えるように話せる、③自分たちの意見を話し合い、取りまとめて発表する などの力が求められます。

子育てママ世代からシニア世代までの人が集まる「南三陸まなびの女子会」では、震災から10年が経過した中越地震の被災地である新潟県山古志村を訪問し、同じような立場の人たちと会い、語り合うことで、「自分ごと」として復興について考えることができました。

2015年から開始した「グラスルーツ・アカデミー東北」は、宮城、岩手、福島の地域で活動する大学生と20～40代の若年の女性を対象にしたリーダーシップ研修です。この研修では、3日間の研修とフォローアップに加えて、地域に戻ってからの活動を応援しています。

このように、小さな集まりで、安心して経験を積み自信をつけることは、女性がリーダーシップを身につけていく上で大きな力となります。

